

単元名: 私たち、結婚します

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	行事	言語レベル	3	必要時間数	8時間

I 単元目標

結婚を機会に韓国で暮らす日本人のためにパンフレットを作成しながら、韓国で暮らすのに必要な言語的・文化的基礎知識を身につけるとともに、日本に住む外国人に対する興味・関心・知識を深めることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<p>◆結婚に関する慣用句や表現が聞いて理解でき、適切な挨拶が言える。</p> <p>◆韓国人家族との円滑なコミュニケーションを想定したやり取りができる。</p> <p>◆日本に住む韓国人から悩みなどを聞き取り、話し合うことができる。</p>	<p>◆韓国社会での、個人や家族と社会とのつながりや家族どうしの関係を理解することができる。</p> <p>◆結婚という行事を通して、日韓の共通点、相違点を理解することができる。</p> <p>◆日本に国際結婚で暮らす外国人が、日本で暮らすにあたってどんな文化的な苦労や摩擦が生じるのかを想像して、理解しようとする気持ちを持つことができる。</p> <p>◆韓国の文化を尊重しながら、日本人の家族を持って暮らしていくための生活アドバイスを韓国人に向けてすることができる。</p> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<p>◆日本以上に急速な外国人の国際結婚が増えている韓国社会の現状を通して、世界的に人は移動していることを理解する。また、その原因などを考察することができる。(知識理解)</p> <p>◆インターネットや資料などを活用して、国際結婚した夫婦が韓国で生活する上で必要な情報を得ることができる。(情報活用)</p> <p>◆グループで分担して情報を集め、PCを活用してパンフレットを作ることができる。(協働、情報活用)</p> <p>◆国際結婚を通して、みんなが住みやすい社会の在り方を考えることができる。本当の「国際社会」とはなにか、「国際人」とはどうあるべきかを考えて自分なりの意見を持つことができる。(高度思考)</p> <p>◆パンフレット作成やその普及活動を通して国際結婚に興味を持ち、日本にある外国人のための相談窓口やボランティア活動にかかわりながら、日本に住む外国人の手助けをすることができる。(社会貢献)</p> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【行事】</p> <p>3-a. 自分や家族にとって大事な行事(由来や意味、過ごし方など)について、紹介しあうことができる。</p> <p>3-b. 高校生にとって大事な行事は何か、なぜ大事なのかについて、話しあうことができる。</p> <p>3-c. 日本の行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼など)の由来や意味・一般的な過ごし方について、口頭または文章で説明することができる。</p> <p>3-d. 相手の国の行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼など)の過ごし方について書かれた文章を、読んで大意を理解できる。</p> <p>3-e. 個人的なイベントや記念日をどのように過ごしているか、また、過ごしたことがあるか、感想を含めて、書くことができる。</p>
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>

Ⅲ 学習活動と評価	
プレコミュニケーション活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分や家族にとって大事な行事にどんなものがあるかあげてみる。【3-a】 ◆ 人生にとって結婚は大事かどうか、その理由について話し合う。【3-b】 ◆ 結婚するときに必要な行事や通過儀礼の由来や意味はなにか、日本では、一般的にどのように過ごしているのか、資料を読んだり家族や親せきでの体験を話し合ってみる。【3-c】 ◆ 韓国に嫁いだ日本人花嫁のドキュメンタリービデオや手記、漫画本などを読んで、日本との違いは何かを話し合う。【3-d】 ◆ 韓国の国際結婚事情と政府の対策について本や資料から理解する。【3-d】 ◆ 韓国での結婚に関する行事、記念日、通過儀礼などの過ごし方について書かれた文章を読んで、日本との違いを話し合う。【3-d】 ◆ 自分にとって理想な結婚と婚後の暮らし（どこで誰と住みたいかなど）について書いてみる。【3-e】 <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 韓国に嫁いだ日本人花嫁のドキュメンタリービデオや手記、漫画本などを読んで、日本との違いは何かを話し合う。（読んだへの理解度、比較の視点、自分の意見、参加態度など） ◆ 自分にとって理想な結婚と婚後の暮らし（どこで誰と住みたいかなど）について書く。（表現が適切か、イメージが伝わるか、理由がわかりやすいか、深く考えられているかなど）
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
<p><場面状況> K大学の韓国語のクラスでは、韓国人と結婚して韓国に住みたい日本人のためにパンフレットをつくることになった。国際結婚に必要な手続や慣習、子育て事情などを調べて、簡単な案内書をつくる。韓国人の家族にも読んで理解してもらえるように韓国語で作成する。</p> <p><活動の流れ> 韓国で結婚式をあげるには、どんなことが必要か（婚需、ヒダン、住まいの準備など）、招待状、招待客などをどのようにもてなせばよいのか、などについて調べ、わかりやすいように表などにまとめる。日本との共通点、相違点について話し合う。 外国人が韓国で暮らそうとするとき、どのような手続が必要か（婚姻届、住民票など）また、どんな困難な点があるのか（国籍によっても違う）を考えて書き出し、対処法を考えてみる。 地域にすむ韓国人にインタビューして、日本に住むにあたって困難な点は何か、などを意見を聞いて参考にする。必要に応じて日本にある韓国の関係省庁（大使館、領事館など）に行って調べたり質問する。日本の関係省庁（区役所など）にも必要があれば調べに行く。子供が生まれたら、届け出はどこにだすのか、進路の選択肢としてはどのようなものがあるのかを調べる。以上のようなことをまとめて、PCの編集ソフトを使ってパンフレットを完成させる。 調べた知識をもとに、ペアで疑似新婚カップルになって、簡単な寸劇をつくる。韓国で国際結婚した夫婦のロールプレイする。台本を作るにあたって疑問に思ったことをさらに深く調べてパンフレットの内容を補充する。 日韓両国の国際交流センターや大使館・領事館などにパンフレットを置いてもらい、これから国際結婚しようとする人たちのために役に立ててもらおう。何組かの国際結婚カップルをモニターとして紹介してもらい、読後の感想をコメントしてもらおう。</p> <p>ヒント☞ ◆好きな韓流スターと結婚することをイメージして、計画してもよい。 ◆外国人が日本人と結婚して、日本に住む場合にはどのような障害があるかも考えてみる。韓国人の場合はどうだろうか。 ◆デジタル文書で作成し、ホームページや韓国紹介サイトに寄稿するのもよい。 ◆パンフレットを普及させるため、セールスポイントを強調したプロモーションビデオを作成するのもおもしろそう。</p>	
<p><目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）> ◆日本にいる韓国人に困っている点についてインタビューする（録画や録音）。（コミュニケーション・ストラテジー、相手への配慮、質問の明確さ、相手の発話の理解度、好感度など） ◆疑似新婚カップルになる寸劇の台本を作る。（日韓の文化事情考慮、内容の面白さ、深さ、演技の工夫など） ◆国際結婚のためのパンフレットを作る。（表現および標記の適切さ、情報量、レイアウトの見やすさ、内容の分かりやすさ、読者の気持ちへの配慮など）</p>	
<p><使用教材・教具> ビデオ、手記、漫画本、PC、インターネットなど</p>	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
結婚相談所のサイト、韓国に嫁いだ日本人、地域の韓国人（日本人と結婚した）、国際交流センター、行政書士、出入国管理事務所、韓国大使館、地域の市役所・区役所・町役場など、韓国のバラエティー番組「私たち結婚します」など	社会、歴史、英語、政経、地理